



図案の全体を折り高い鑑にまとめた。胴体は「上田」の文字で組み中央のとがった三角形は無限の可能性と発展を表す。空気に羽ばたく上田小のシンボル。(昭和39年制定、上原正徳氏デザイン)

うえたっ子 12月



今年はどうな1年でしたか？ 今年もあと少し。師走です！

2019年の月めくりのカレンダーもいよいよあと1枚となりま
す。朝夕だけでなく、日中も肌寒く感じる日が多くなり、12月を目前に、南国
沖縄にもようやく冬の気配が感じられるようになりました。寒くなりますと、子
どもたちの背中も丸くなりがちで、ポケットに手を入れて歩く姿も見られま
す。転倒によるケガも予想されるため、適宜、指導を行って参ります。ご家
庭でも話題にさせていただけると幸いです。

ここ数年、運動場のない不便な状況にありましたが、
11月3日には、新しい運動場で伸び伸びと運動会を行う
ことができました。各学年とも、趣向を凝らした演技や競技で、子どもたちの
良さが前面に押し出され、内容的にも大変充実していたと思います。手前
味噌ですが、選曲のセンスも良く、耳でも目でも楽しめる運動会になったと
自負しております。また、久々のPTA競技復活へのご協力にも感謝します。

現在、学校では、児童会役員を中心に「歳末助け合い募金」に取り組ん
でいます。毎朝、児童玄関でドラえもん募金箱の回収が行われ、募金してく
れた子どもたちの名前が書かれたハートが台紙に貼られています。

また、12月15日(日)には、「上田っ子発表会」も控えておりますが、毎日の
学習もしっかりと進めながら、練習・準備に取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様も健康に留意されて年末をお迎えください。



12月の主な行事予定

- 2日(月) 市学力調査(全学年対象)
- 4日(水) 表彰朝会 補習指導
- 5日(木) 人権の日 PTAまつり実行委員会
- 7日(土) PTA作業
- 11日(水) 学年朝会
- 12日(木) 上田っ子発表会(児童鑑賞会)
- 15日(日) 上田っ子発表会(保護者観覧)
- 家庭の日・ファミリー読書
- 16日(月) 振替休日
- 17日(火) 校外学習(2年 市立図書館)
- 18日(水) 児童朝会(募金贈呈式) 補習
校外学習(特支学級 暮れの街見学)
- 19日(木) 租税教室(6年) 学習支援室
- 21日(土) PTA学年行事(2学年 親子レク)
- おきなわ地域教育の日
- 25日(水) 2学期前半終了の日(冬休み ~1/5)
- 31日(火) 大晦日



2020年1月

- 1日(水) 元日(祝日)
- 6日(月) 2学期後半開始日
- 10日(金) 授業参観日



やだ、やだ あっかんべー ~演劇鑑賞会~

11月13日(水)、体育館で『劇団風の子九州』による演劇を鑑賞しました。

目の前でクルクルと変わる舞台装置に目を丸くし、ワクワク・ドキドキしながら、3・4校時は低学年、5・6校時は高学年が鑑賞しました。

物語の舞台は九州のとある田舎町。そこに都会から引っ越してきた引っ込み思案の女の子が、友だちや妖怪たちと関わっていきながら、様々な冒険に挑むという物語です。上田っ子たちは、目の前で広がる世界に大笑いしたり拍手したり、と演技の世界に引き込まれていました。4人の役者さんですべての登場人物(15のキャラクター)を演じ、裏方もこなすすごさに驚く子もいました。

子どもたちの中からは、「主人公のともちゃんが自分と似ていた。足も遅いし、得意なことが何もない。…だけど最後は勇気を出して土蜘蛛を倒してすごいと思った。」「ずっと笑っていた。面白かった。」「演劇の人になりたい。」など、様々な感想が聞かれました。



いつもお世話になっています ~ありがとう集会~ 11/20

上田っ子たちが、日頃、お世話になっている皆様をお招きして、感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」が、児童会を中心に行われました。当日は、早朝より、保護者を代表してPTA会長、学校評議員、民生委員・児童委員、読み聞かせボランティア、クラブ講師、警察官、学習支援ボランティア、給食センター栄養職員等、20名の皆さんが参加してくださいました。

児童を代表して6年生の佐久間暖人さんから、「…前略 ぼくたちが毎日安心して楽しく学校生活を送れるのも、ボランティアの皆さんの支えがあるからです。ぼくたちのために、たくさんの方々が協力して下さっていることを忘れず、感謝の気持ちを持って日々を過ごしていきたいと思います。これからも、よろしく願います。」と感謝の気持ちが伝えられ、子どもたちから、お花と感謝状を差し上げました。



いじめを予防する一番の力は一人一人の行動 ~第1弁護士によるいじめ防止授業~

授業参観日(11/14)の4校時、5学年の各学級では、弁護士による「いじめ防止授業」が行われました。

授業ではまず、「弁護士とは何か?」、「人権とは何か?」を説明した後に、「いじめとは何か?」について展開されていきました。今回の授業では、1986年に実際に起こった鹿川君事件等を題材にして、「人権」の視点から、いじめは「人権侵害」であり、絶対に許されないことであることが伝えられました。

いじめの恐ろしい特徴の一つは、それがなぜいけないのかが漠然としているため、いじめが実際に命に関わるという現実感がないことだそうです。専門家による授業は、子どもたちにもしっかり理解されたのではないのでしょうか。



しまくとぅぼ で「耳グスイ」コーナー

実ぬ 入ら 一首 折り

(意味) 実が 入れば 首(を) 折りなさい。

【解説】 稲の穂は、実れば実るほど、その重みで穂先が折れて垂れ下がっていく。人間も、中身が充実すればするほど、頭を下げて謙虚にならなければならない、という教え。真に実力と人間性が充実していれば、世の中にはいくらでも自分より上手(わづ)がいることを知るようになり、おのずと態度も謙虚になっていくもの。また、そうでなくてはならない。少し偉くなったからといってふんぞり返り、人を人とも思わぬ高慢な態度をとる者は、まだまだ人間的に未熟な者である。そのようなハナフチャー(鼻をふくらませて威張る人)を戒める場合などに用いられることわざ。

これと関連して宮古には次のようなものがある。「むずぶすや のうすがなか ふぎすあ だり、ぴとお ふあいちかあ あばなき(作物は実入るほど首をたれ、人は食えれば上を向く)。「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」と同意。



「めるぼん(学校メーリングサービス)の登録をお願いします。



学校から配信されるお知らせや不審者情報等をリアルタイムで受信できる「めるぼん」への登録をお願いします。なお、登録方法については、学校HPをご覧ください。

☆「上田小ホームページ」では各種たよりをカラーでご覧いただけます。

- ①「豊見城市立上田小学校」で検索する
- ②[<http://elue.city.tomigusuku.okinawa.jp/index.jsp>]
- ③「豊見城市ホームページ」→【教育・スポーツ】→【学校・教育】→【小中学校に関すること】→【市立小中学校一覧】→「上田小学校」